

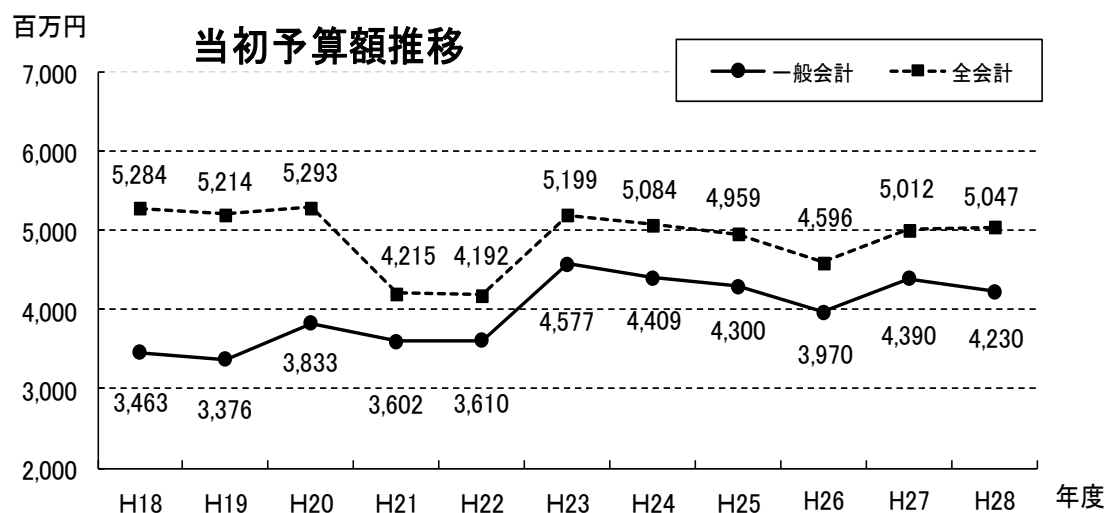
平成28年度 ニセコ町予算案の概要

平成28年2月
総務課財政係
(数値は一部概算値を用いています)

1 予算規模

単位：万円、%

会 計	28年度予算額		27年度予算額		増減比較			
	当初 A	当初 B	現計 C	当初予算比		現計予算比		
				A-B	増減率(%)	A-C	増減率(%)	
一 般 会 計	423,000	439,000	466,111	△ 16,000	△ 3.6	△ 43,111	△ 9.3	
国民健康保険事業特別会計	25,930	23,930	24,139	2,000	8.4	1,791	7.4	
後期高齢者医療特別会計	5,130	5,060	5,060	70	1.4	70	1.4	
簡易水道事業特別会計	28,640	15,540	19,340	13,100	84.3	9,300	48.1	
公共下水道事業特別会計	21,360	17,160	17,960	4,200	24.5	3,400	18.9	
農業集落排水事業特別会計	600	490	490	110	22.5	110	22.5	
合 計	504,660	501,180	533,100	3,480	0.7	△ 28,440	△ 5.3	
羊蹄山ろく消防組合ニセコ支署	16,778	16,084	16,084	694	4.3	694	4.3	



2 予算案の概要、編成方針

昨年二セコ町は、これまで続けてきた「『住民自ら考え行動する』住民自治によるまちづくり」の取り組みが評価され、民間団体プラチナ構想ネットワークから「プラチナシティ」の認定を受けることができました。また、人口減少問題に立ち向かい克服していくため、重点的に実施する取り組みをまとめた自治創生総合戦略を平成27年度中に策定し、今後はその実践期間へと入っていくこととなります。

平成28年度は、これまで培ってきたまちづくりの基盤や実践をさらに充実させるとともに、自治創生の取り組みなど将来に向けた戦略的な視点と行動力をもって諸施策を進める年として予算編成にあたっています。

また公共投資についても、①人口増に伴う喫緊の課題である子育て・教育施設の整備、②安心・安全を支える社会インフラの更新・整備、③くらしやすさの向上・将来の持続的発展等に向けた整備、の優先順位付け方針のもと、財政状況を踏まえながら、中・長期的視点から重点的かつ計画的に実施していくこととし、複数年計画のもと予算編成を行っています。

《上記の優先順位付けによる主な事業》

- ①幼児センター増築、二セコこども館整備、二セコ小・近藤小改修
- ②道路・橋梁補修、上下水道施設更新
- ③火葬場機能向上、公営住宅改善、町道整備、中央倉庫群再活用整備

～プラチナ構想ネットワーク ホームページより～

「プラチナシティ」とは

イノベーションによる新産業の創出やアイデア溢れる方策などにより地域の課題を既に解決し「プラチナ社会」に向かいつつある、あるいは「プラチナ社会」実現に向けた明確なビジョンや具体的なアクションによる素晴らしい取り組みを始めている自治体が「プラチナシティ」です。（制度開始 2014年）

「プラチナシティ認定自治体」

プラチナ大賞運営委員会（委員長：増田 寛也）ならびにプラチナ構想ネットワークが開催する「プラチナ大賞」において各賞（大賞、優秀賞、特別賞、審査員特別賞、プラチナ・イノベーション賞、その他今後新設される賞）を受賞した自治体（全国22自治体）。二セコ町は第3回プラチナ大賞優秀賞を受賞しました。

なお、平成28年度予算案においても、編成過程における職員向け予算編成説明会から事業ヒアリング、予算ヒアリングとすべて公開で実施のうえ編成しています。また、議決後は町民向け予算説明書「もっと知りたい今年の仕事」を作成し、町内全戸配布を行います。

まちづくり基本条例のもと、予算編成過程の公開と分りやすい予算情報の提供に引き続き努めていきます。

各会計予算の総額は50億4,660万円で、前年度比3,480万円の増額(0.7%)となりました。総額では前年度とほぼ同規模となります。

一般会計では、予算額が42億3千万円と前年当初比1億6,000万円(△3.6%)の減額となりましたが、幼児センターの増築整備を行うほか、昨年度に整備した二セコこども館（学童保育施設＋放課後こども教室施設）や中央倉庫群（地域活性化交流拠点施設）の運営が始まります。さらに次の事業に取り組み、二セコ町の価値を高め将来に継承していくためのまちづくりをより一層充実させます。

【自治創生事業の推進】

雇用対策・移住定住推進・人材育成など（事業費は該当事業費の合計）[㊦][㊧]

【国営緊急農地再編整備事業の推進】

国営二セコ土地改良事業 事業費 3,056万円[㊦]

【農業の多面的機能の維持・発揮】

多面的機能支払交付金事業 事業費 4,081万円

【観光振興・広域観光の推進】

観光振興補助（フットパス・周遊バス等） 事業費 575万円[㊦][㊧]

二セコ観光圏等推進事業 事業費 921万円

【商工業振興・企業支援の推進】

ポイントカード普及拡大事業 事業費 250万円[㊦]

にぎわいづくり起業者等支援補助 事業費 500万円[㊦]

【社会福祉の充実】

高齢者グループホーム運営事業補助 事業費 540万円

社会福祉協議会補助 事業費 1,715万円

地域活動支援センター運営事業補助 事業費 995万円[㊦]

【児童福祉の充実】

二セコこども館整備事業 事業費 432万円

二セコこども館の管理運営 事業費 1,298万円[㊦]

中学生までの医療費の無料化（町独自分） 事業費 722万円

【環境施策・地域の省エネルギー化の推進】

環境モデル都市フォローアップ事業 事業費 108万円[㊦]

環境基本計画見直し・環境白書作成事業 事業費 108万円[㊦]

綺羅乃湯照明LED化更新事業 事業費 456万円[㊦]

【教育環境の充実】

幼児センター増築整備事業 事業費 1億6,479万円[㊦]

二セコ小学校機能向上等整備事業 事業費 698万円[㊦]

近藤小学校校舎改築等整備事業 事業費 611万円[㊦]

コミュニティスクール推進事業 事業費 124万円

児童生徒スキーシーズン券の購入助成 事業費 320万円[㊦]

【地域における情報と交流の新たな拠点づくり】

コミュニティFM放送局の管理運営 事業費 2,208万円

あそぶっくの管理運営 事業費 1,896万円

中央地区駅前旧倉庫群整備事業 事業費 1,539万円

中央地区駅前旧倉庫群の管理運営 事業費 751万円[㊦]

【地域づくりの担い手・人材の活用】

地域おこし協力隊の活用 事業費 3,694万円[㊦]

集落支援員の活用 事業費 809万円[㊦]

【防災対策、防災機能の強化】

原子力防災、総合防災対策の充実 事業費 718万円[㊦]

【快適な生活基盤の整備推進】

デマンドバス運行事業 事業費 1,984万円

火葬場機能向上整備事業 事業費 972万円

町道整備事業（羊蹄近藤連絡線・北栄中通） 事業費 4,022万円[㊦]

橋梁長寿命化点検・改修事業 事業費 4,202万円[㊦]

公営住宅改善事業（富士見団地） 事業費 3,443万円

【水道・下水道施設の更新】

水道設備機器・施設の更新 事業費 7,211万円[㊦][㊧]

下水道管理センター設備の更新 事業費 3,600万円[㊦]

【収 入】

○**町税**は、国内の景気動向や国・北海道の税収見込みを基に、近年の収入実績を考慮のうえ、町民税で1億8,252万円（前年度比1,218万円増）、固定資産税では過疎法による課税免除終了等により3億6,608万円（前年度比2,468万円増）、入湯税においては観光入込客数の伸びをうけ6,857万円（前年度比938万円増）となり、たばこ税などを含めた全体で6億5,879万円（前年度比4,695万円増）の歳入を見込みます。

○**地方交付税**は、19億5,500万円（前年度比より6,500万円増）を計上しました。

普通交付税は、2015年国勢調査の速報値により人口が増加となる見込みであるほか、交付税による財源措置のある過疎対策事業債・辺地対策事業債の償還額増加等による増収を見込み、18億500万円（前年度比6,000万円増額）を計上しています。また特別交付税については地域おこし協力隊及び集落支援員の増員により算定基準額が上がることから1億5,000万円（前年度比より500万円増）を計上しています。

また、地方財政対策における財源補填のための町債（臨時財政対策債）の発行は、1億2,000万円を見込みます。

○**町債（借入金）**は、北栄中通改良舗装事業、中央地区排水路等整備事業、二セコ小学校施設機能向上改修事業、近藤小学校施設改修事業などを新たに実施し、幼児センター増築工事や二セコこども館外構工事、火葬場機能向上工事のほか、道路、橋梁、公営住宅の整備などの継続事業により、4億2,460万円（前年度比4,830万円減）を計上しました。

【支 出】

○**普通建設事業費（公共投資事業費）**は、中央地区駅前倉庫群再整備工事や二セコこども館整備工事などの大型公共工事を昨年度実施したことから、大きく減額となり、4億35万円（前年度比2億2,493万円減）となりました。

○**維持補修費**は、1億7,468万円（前年度比574万円減）です。現在、施設の長寿命化と改修コストの平準化を進めており、ライフサイクルコストの低減と快適性確保の両立を図るため、公共施設整備基金を活用して既存公共施設への必要な改修（投資）を進め、町民共有の大切な資産の保有に努めます。

○**公債費（借金返済額：町債元利償還金）**は、7億3,491万円（前年当初比834万円増）となります。町債の借入にあたっては、交付税措置のある財政上有利な借入を進めていますが、公債費の増加は将来の町財政圧迫の要因となるため、負担が過度に拡大しないよう、また、中・長期的に公債費が減少となるよう町債の借入計画により年間借入額の目安を定めています。

○**扶助費**は、ここ数年来の実績を考慮し、予算を積み上げた結果、2億3,284万円（前年度比333万円減）となりました。

特別会計予算案の概要

平成28年度の5つの特別会計への一般会計からの繰出金は、合計で2億9,377万円（前年度比782万円増）となりました。うち国民健康保険事業会計への国・道の制度に基づく繰入金が6,316万円（前年度比1,058万円増）、収支不足分の繰出金（補てん金）は、2,130万円（前年度比380万円減）となっています。

また、上下水道3会計への一般会計からの繰出金は1億8,965万円（前年度比27万円増）となりました。

上下水道会計においては、今年度に施設設備等の更新事業を行います。今後も施設老朽化による維持管理経費の増加が予想されます。長寿命化の観点から維持補修や改修などによる予防保全及び計画的な更新に努め、将来コストの抑制に取り組めます。

○国民健康保険事業会計では、療養給付費の増額等による後志広域連合負担金の増により、予算額が2億5,930万円と前年度比2,000万円（8.4%）の増額となっています。近年、収支不足額が減少傾向となっておりますが、国保基金の繰入により一部を補填するとともに、なお不足する2,130万円について一般会計からの支援を行い、会計運営の収支均衡を図ります。

○後期高齢者医療会計では、北海道後期高齢者医療広域連合負担金の増額により、予算額が5,130万円と前年度比70万円（1.4%）の増額となっています。

○簡易水道事業会計では、老朽化による水道施設機器更新事業と道道二セコ停車場線工事に伴う水道管移設事業の実施により、予算額が2億8,640万円と前年度比1億3,100万円（84.3%）の大幅増額となっています。

町民生活の安心に直結する水道水の安定した供給を行うため、各施設の計画的な更新・維持管理の充実を進めます。

○下水道事業会計は、長寿命化事業として下水道管理センターの電気設備の更新工事（2か年実施）が始まるほか、簡易水道同様に道道二セコ停車場線工事に伴う下水道管移設事業の実施により、予算額が2億1,360万円と前年度比4,200万円（24.5%）の大幅増額となっています。

○農業集落排水事業会計は、広域事業として二セコ町分の汚水処理を実施している蘭越町へ負担金の増により、予算額が600万円と前年度比110万円（22.5%）の増額となっています。

3 財源の調整

各部署からの予算要求時点では、支出見込額が収入見込額を上回り、約5億9,000万円あまりの不足が見込まれていましたが、投資的事業の優先順位付けと実施年度の平準化、経常経費の抑制による支出の見直し、国や道補助金の計上及び町債の発行による収入の確保など実施した結果、支出見込額と収入見込額の差を2億900万円（前年度比1億2,100万円減）まで圧縮しています。

新規事業や重点事業の実施、計画的な施設更新、各種計画の策定、子育て・福祉施策の拡充など、まちづくりの充実と将来を見据えた投資によるこの不足額については、公共施設整備基金1億円（前年度同額）、財政調整基金9,500万円（前年度比1億1,500万円減）、地域福祉基金1,400万円（前年度比600万円減）の繰り入れをもって、収支の均衡を図っています。なお、予算執行においては財源確保と経費節減・効率的予算執行に努め、基金繰入額の圧縮を図ります。

当初予算額2億900万円の全額を繰り入れた場合、平成28年度末の予想基金残高は約10億8,732万円と見込んでいます。

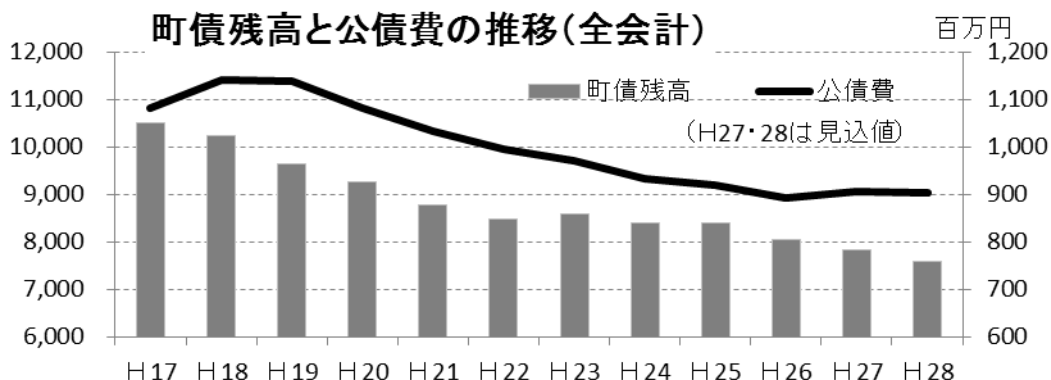
基金残高（一般会計）

単位：万円

基金名	H27年度見込み				H28年度見込み			
	積立	取崩	残高	対前年増減	積立	取崩	残高	対前年増減
財政調整基金	11	0	50,268	11	48	9,500	40,816	△ 9,452
減債基金	0	0	1,000	0	0	0	1,001	0
公共施設整備基金	10	10,000	34,332	△ 9,990	84	10,000	24,417	△ 9,916
社会福祉事業基金	21	1	3,334	20	1	1	3,334	0
地域福祉基金	864	802	7,092	62	2	1,402	5,692	△ 1,400
スポーツ振興事業基金	0	0	386	0	0	0	386	0
交通遺児育英基金	0	0	17	0	0	0	17	0
ふるさとづくり基金	1,120	25	2,343	1,095	1	0	2,344	1
国営農地基金	2,000	0	2,000	2,000	0	0	2,000	0
役場庁舎建設基金	1,000	0	2,000	1,000	1	0	2,001	1
土地開発基金	1,877	1,875	20,554	2	2	0	20,556	2
産業振興基金	4	0	6,167	4	3	0	6,170	3
一般会計 計	6,907	12,703	129,492	△ 5,796	143	20,903	108,732	△ 20,760

※端数処理により合計が合わない場合がある

なお、町債の発行にあたっては、財政状況の将来見通し、今後の投資的事業の実施計画などをもとに発行計画を策定のうえ、町債残高（借金残高）及び公債費（借金返済額）の計画的な抑制・減額を図っていくこととしています。



4 主な取組み事業

持続的な経済循環へ

①農業生産基盤の整備 拡

農業の生産性の向上に不可欠な良好な農業生産基盤の整備のため、平成27年度より国営緊急農地再編整備事業の本格工事が開始されています。

事業整備計画は全体で1,490haとなっており、早期着手が望まれていた事業であることから、今後もスムーズな事業推進のため、期成会による活動をより活発化するとともに、農地の集積化に必要な整備農地の権利調整を行う換地計画の作成を進めていきます。また、夏期施工等により発生する農業事業者の所得損失を緩和するため本町が主体となり国の制度を活用した支援事業を実施します。

町独自の事業として明暗渠掘削特別対策事業や農業用水路補修事業を継続し、生産基盤の整備を進めます。

②農業の多面的機能の維持、発揮

地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮を継続的に進めるため、協定を結んだ地域の共同活動や地域資源の維持管理に必要な事業費に対し、多面的機能支払交付金事業として国50%、道25%、町25%を助成し、将来においても機能が適切に発揮できるようにするとともに、担い手育成等の構造改革を進めていきます。

③担い手対策

新たなニセコ農業の担い手育成対策として、昨今の農業への関心の広がりや背景に本町の地勢や都市部に近い地理的条件を生かして、多様な農業経営体を育成・確保するため、所得目標など経営計画の基準を満たす小規模経営就農者に対し、無利子の貸付金制度を継続的に実施しています。

④高品質米生産の推進

クリーン農業と高品質米の産地化の定着化を図るため、化学肥料の低減などクリーン農業に取り組み、品種による一定のタンパク基準をクリアした米生産者に対して引き続き助成します。

⑤観光客誘客の強化 拡・新

国内事業としては、競争力の高い魅力ある観光地づくりに向けて、民間事業者のアイデアを生かし、その挑戦を支援するため、民間事業者が企画・実施する観光振興に係る事業に対し「ニセコ観光魅力アップ事業補助」を継続します。

町内のイベント支援強化として、ニセコエリアの観光事業者などで構成する「ニセコフェスティバル実行委員会」等が行う主催イベントや体験プログラム等の広告宣伝経費等に対して助成を行い、幅広い事業者間の取り組みと連携強化を

支援します。

このほか、2次交通対策として町内周遊バス運行への助成を継続します。

また観光資源の磨き上げとして、フットパス事業や温泉PR及び湯めぐりパスのリニューアル事業に対し新規に補助を行います。

⑥ニセコ観光圏事業の推進 **拡**

平成26年7月に認定されたニセコ観光圏を活用し、ニセコエリア全体としての観光振興を進めます。

3町共同事業として、共通パンフレットの作成や海外プロモーションの展開などのほか、町独自の事業として、訪れる観光客にニセコ町ならではの魅力を伝える着地型旅行の商品開発等に取り組みます。

⑦町内消費の拡大 **拡**

自立・循環型経済システムへの転換を図るため、町内消費意欲の向上と商業の活性化、子育て世代の町内消費拡大と子育て家庭への生活支援を目的とした町内消費ポイントカード事業に対して引き続き補助します。

⑧商業の振興や賑わいの創出 **拡**

町内において小規模事業所を新設又は継承して新たに起業する方、又は業種の転換や事業所の拡張など積極的な事業展開を目指すために建物の新築や増改築、改装を行う費用の一部を助成します。

また、駅前温泉「綺羅乃湯」の機能向上に向けた取り組みを継続するとともに、中心市街地の活性化を図るため、綺羅街道における「市」（通称綺羅キラ市）を開催等、観光客の誘導などにより商店街の賑わいの創出と商店街の活性化を支援します。このほか、「七夕の夕べ花火大会」などに対して継続支援を行います。

誰もが健やかに笑顔で暮らせるまち

①高齢者グループホームの運営

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、介護スタッフによる食事、入浴等の生活支援や機能訓練を受けつつ共同生活を行う住居として「社会福祉法人ニセコ福祉会」による高齢者グループホームが平成26年度より運営を開始しています。

昨年度には2ユニット目（9名）の受入も始まり、現在、ほぼ満床により運営がされていますが、継続的かつ安定的な運営を図るためにグループホーム運営経費への助成を実施し、居住者が安心して生活できる環境を確保します。

②高齢者世帯の除雪費用の助成

高齢者世帯の私道除雪委託や住宅周辺の除雪サービス、業者に委託している除

雪費用の一部の支援等を継続します。

③重度障がい者タクシー料金扶助制度及び住宅改修費助成事業

身体に障がいを持つ方の社会参加をより一層促進するため、重度障害者タクシー料金扶助制度を継続します。

また、介護保険制度及び障害者自立支援法に基づく住宅改修費助成事業についても、住宅改修費の補填がされない20万円を越える部分の利用者自己負担の半分を町が引き続き助成します。

④予防接種事業の推進及び中学生までの医療費の無料化

1歳から就学前までの小児への感染症対策として、おたふくかぜの予防ワクチンの接種費用を、インフルエンザ予防接種については、子ども、高齢者等への全額支援を継続します。また、子育て家庭への支援として、中学修了までの子どもにかかる医療費の無料化を継続します。

⑤健康診査費用の無料化

75歳以上の高齢者の特定健康診査については、受診者負担の軽減と受診率の向上を図るため、引き続き健診費用の無料化を行います。

国民健康保険事業では、病気の早期発見による重症化の予防、医療費の抑制などを目的として、40歳以上の特定健康診査にかかる一部負担金の無料化を継続実施します。

環境にやさしいニセコの創造

①環境基本計画の見直し・環境白書の作成 新

第2次環境基本計画について見直しを行います。また、専門的な内容ではなく誰もが見て分かり環境意識の高揚につながる内容で環境白書を作成します。

②環境モデル都市フォローアップ事業 新

環境モデル都市アクションプランに基づき取り組んでいる各種施策のCO2削減効果を継続的に把握し、その結果をさらに施策に反映させていく、といった検証可能な事業サイクルの確立に向け、必要資料等の作成整備を行います。

③地域の再生可能エネルギーの活用 新

電力自由化を受け、高圧電力契約をしている町内10施設について、町内の水力発電所による電力に切り替えます。

これにより、電力の地産地消やCO2削減を進めるほか、電気料金としても約300万円の節約が図られる見込みとなっています。

④一般住宅の省エネルギー改修の促進

一般家庭における環境負荷低減の取組として、既存住宅の省エネルギー改修（断熱性能向上）費用の一部を引き続き助成します（補助金上限 30 万円）。

⑤ 民有林及び町有林の整備

国の補助事業等を活用して民有林の整備を進めるほか、峠地区の町有林（17 ha）の間伐事業を実施します。

また、町独自の取り組みとして、引き続き森林整備を一層進めるために民有林の保育に必要な除間伐奨励制度を実施し、民有林の環境整備を促進します。

豊かな心と個性ある文化を育む

①ニセコこども館の建設・運営 新

平成27年度に、ニセコ小学校の一教室を活用し運営していた学童保育事業と町民センター等を活用して実施していた放課後子ども教室事業を一体で運営できる施設を整備しました。今年度はその外溝工事をするほか、新施設ニセコこども館での運営が開始されます。新施設では小学校6年生まで受入れ年齢の拡大を行っています。

②子育て世帯への支援 拡

幼児センターの保育料について、国による子ども・子育て新制度の運用開始により、制度上、多子世帯において負担額が増大することとなりました。そこで、町独自に影響がある世帯に対し負担軽減対策を実施しています。この軽減対策を継続するとともに、保育料全体についても基準額より低く設定しており、子育て世帯に対する支援を行っています。

小中学校および高等学校で提供している学校給食では、第3子目以降について、子育て家庭の所得状況を考慮しながら給食費の免除を継続して行います。

小・中学校のスキー授業で必要となるスキーリフト費用について、引き続き必要となる経費を町で負担します。

また、小中高生のスキー場シーズン券の購入に対する助成について、助成内容の拡充を継続して実施します。

③教育環境の充実 拡

コミュニティスクール制度の導入に向けて、引き続き体制構築に向けた取り組みを進め、「地域と共にある学校づくり」を目指した制度運用の検討を進めます。

各学校に特別支援講師を配置して、個別的配慮の必要な児童生徒の学習支援を行うほか、小中高等学校に対して、スクールカウンセラーを派遣して、学校生活における児童・生徒の心のケアに努めます。また、図書指導員による学校図書活動の充実にも引き続き取り組みます。

施設面では、増加する児童数による教室不足に対応するため、二セコ小学校の旧学童保育教室について普通教室化工事を実施するほか、近藤小学校の校舎改築に向けた実施設計を行います。

④国際感覚を養うための支援

これからの国際社会を見据え、幼児期からの国際理解と英語教育の推進による国際感覚の醸成を図るため、幼児センターや小・中学校に英語教育講師を派遣します。また、高校でもJETプログラムを活用した外国人講師を配置します。

また、二セコ高校における修学旅行では、旅行先をマレーシアとして現地ホテルスクールとの連携による国際観光都市におけるホテル実習体験などを通じ、国際社会に通用する人材の育成に努めます。

⑤国際交流員（CIR）の受入と国際化の推進

国が行うJETプログラムを活用し、海外青年4名の派遣を受け入れます（経費は地方交付税で財源措置されます）。外国語刊行物の編集・翻訳や国際交流事業の企画・立案、外国からの訪問客の接遇など国際交流活動を進展します。

また、国際交流推進協議会において、町民と海外留学生や外国人定住者、国際交流員との文化交流の機会を設けるなどして地域の国際化を推進します。

⑥スポーツ競技トップ選手による指導・交流 拡

北海道日本ハムファイターズとの連携による野球教室など、各種競技のトップ選手や二セコに縁のある選手を招き教室を開催し、選手との交流を通じてスポーツへの技術、意欲の向上、努力することの重要性を知る機会を提供します。

⑦有島記念館の企画・展示・調査研究事業 拡

1年を通じ、切れ目のない企画展やコンサート等のイベントの実施、また、年間シーズンパスの発行などの取り組みにより、近年、有島記念館の入館者数が増加傾向にあります。引き続き魅力ある館運営を行っていくほか、オリジナル土産品の販売など新たな取り組みも進めます。

施設面では、収蔵品の管理向上のため収蔵庫の温度湿度管理設備を更新します。

新しいまちづくりの拠点、担い手

①中央地区旧倉庫群再活用事業・施設運営 新

昨年度に再生利用整備を終えた市街地中央地区の石造倉庫群を舞台とし、民間NPOの運営による賑わいの再生や新たな交流拠点づくりの事業を展開します。

夏に予定している施設オープンに向け、必要備品類の整備やクライミングウォールの設置などを実施します。

②地域おこし協力隊・集落支援員 **拡**

さまざまな地域活動の支援を行う「地域おこし協力隊」及び「集落支援員」制度を活用して、地域外の人材を積極誘致し、農林業など担い手不足の作業支援、環境保全や地域おこし活動などといった地域全体の協力活動に参加し、地域力の維持・向上と地域おこし協力隊員の起業化、定住化を進めます（かかる経費は特別交付税で財源措置されます）。

③コミュニティFM放送局の運営

情報共有手段として、「ラジオニセコ（周波数76.2MHz）」を(株)ニセコリゾート観光協会ラジオ事業部が運営しています。行政情報や防災情報に加え、地域の情報や観光情報を幅広くお知らせするとともに、子どもたちをはじめとして町民参加による番組づくりなどにより、地域コミュニティ活動の拠点としての事業の展開を支援します。

安全で安心、快適な暮らしを支える

①防災機能の強化 **拡**

本町は泊原発事故時の「緊急時防護措置を準備する区域」となっています。

防災備品の整備や非常食の補充などの資材購入を計画的に進めるほか、継続的に具体的な災害を想定した総合防災訓練を実施し応急対応力の向上に努めます。

②にこっとBUS（デマンド交通）の運行

交通弱者の域内交通手段として、「にこっとBUS」の運行を平成24年10月より実施しています。運行費用の一部を助成し、安定的な交通手段の確保と利用者の利便性の向上を図ります。

③消費生活相談センターの運営

消費者生活相談・苦情処理等に対応するため、俱知安町を除く周辺7町村による消費生活相談の広域体制（ようてい地域消費生活相談窓口）を共同運営しています。

④町道羊蹄近藤連絡線歩道整備

羊蹄近藤連絡線は、交通量の多い国道5号と道道岩内洞爺線を結ぶ幹線町道であり、沿線住民の安全性を確保するため、歩道の整備を進めます。

⑤町道北栄中通改良舗装整備 **新**

未改良路線である町道北栄中通について、子育て世帯を含む沿線町民の増加をうけ路盤改良と舗装整備を実施します。

⑥橋梁改修工事 **拡**

橋梁の長寿命化や事故の未然防止の為、橋梁の定期点検を実施します。また、点検結果により優先度の高い橋から計画的に補修工事や予防修繕を進めることとしており、今年度は昨年度に引き続き芙蓉橋の補修工事を実施します。

⑦公営住宅の住環境の改善

公営住宅ストック総合活用計画に基づき、老朽化した富士見団地（2棟8戸）、の長寿命化複合改善工事を進めます。

今後も住宅の長期利用の取り組みを進め、次年度以降は順次、新有島団地や綺羅団地等の長寿命化を進めていき、住環境の改善を図ります。

未来を見据えた行財政の基盤づくり

①総合計画の策定と戦略的な行財政運営

第5次二セコ町総合計画に掲げる「環境創造都市二セコ」の基本理念のもと、まちづくりを推進します。また、財政計画（中期財政見通し）の見直しを行い、戦略的な行財政運営に取り組みます。

②総合戦略に基づく自治創生事業の推進 **新・拡**

日本全体が人口減少化社会を迎えている中、二セコ町は、近年、人口の増加傾向が続く、稀有な町となっています。しかし、現在策定している自治創生総合戦略の人口ビジョンにおいては、仮に2060年に人口5,000人を維持できたとしても、生産年齢人口（15歳以上64歳未満）の減少による地域の労働力不足や高齢人口の増加による高齢化の問題が指摘されています。

これらの課題を克服するため、総合戦略にまとめられた重点化して取り組むべき各種施策を推進します。

③町税等収納対策の強化

税の公平性を図るため、町税等収納対策推進計画に基づき、新たな滞納の発生抑制と収納対策、後志広域連合との連携を図りながら滞納整理を進めます。

④計画的な公共施設管理

今まで策定してきた公営住宅、道路ストック総合活用計画、橋梁、下水の長寿命化計画などを基礎とし、公共施設全般の必要性などを含め、将来的な負担を減らすよう、公共施設管理計画を作成し、公共施設の維持管理に努めます。

4 一般会計 歳入・歳出の内訳（款別）

単位：万円、%

款	区 分	歳 入				予算構成比	
		本年度予算	前年度予算	増 減 額	増減率	本年度	前年度
		A	B	A-B			
1 町税		65,879	61,184	4,695	7.7	15.6	15.4
2 地方譲与税		4,900	4,700	200	4.3	1.2	1.1
3 利子割交付金		70	80	△ 10	△ 12.5	0.0	0.0
4 配当割交付金		70	70	0	0.0	0.0	0.0
5 株式等譲渡所得割交付金		30	30	0	0.0	0.0	0.0
6 地方消費税交付金		8,200	5,200	3,000	57.7	1.9	1.2
7 ゴルフ場利用税交付金		300	300	0	0.0	0.1	0.1
8 自動車取得税交付金		600	500	100	20.0	0.1	0.1
9 地方特例交付金		100	100	0	0.0	0.0	0.0
10 地方交付税		195,500	189,000	6,500	3.4	46.2	43.1
11 交通安全対策特別交付金		70	70	0	0.0	0.0	0.0
12 分担金及び負担金		2,520	3,285	△ 765	△ 23.3	0.6	0.7
13 使用料及び手数料		15,778	14,711	1,067	7.3	3.7	3.4
14 国庫支出金		22,046	37,794	△ 15,748	△ 41.7	5.2	8.6
15 道支出金		20,094	19,445	649	3.3	4.8	4.4
16 財産収入		3,731	3,570	161	4.5	0.9	0.8
17 寄附金		0	0	0		0.0	0.0
18 繰入金		20,903	33,003	△ 12,100	△ 36.7	4.9	7.5
19 繰越金		3,000	3,000	0	0.0	0.7	0.7
20 諸収入		16,749	15,668	1,081	6.9	4.0	3.6
21 町債		42,460	47,290	△ 4,830	△ 10.2	10.0	8.4
歳 入 合 計		423,000	439,000	△ 16,000	△ 3.6	100.0	100.0

款	区 分	歳 出				予算構成比	
		本年度予算	前年度予算	増 減 額	増減率	本年度	前年度
		A	B	A-B			
1 議会費		4,827	5,300	△ 473	△ 8.9	1.1	1.2
2 総務費		110,809	108,838	1,971	1.8	26.2	24.8
3 民生費		50,686	63,500	△ 12,814	△ 20.2	12.0	14.5
4 衛生費		31,101	32,938	△ 1,837	△ 5.6	7.4	7.5
5 労働費		204	204	0	0.0	0.1	0.0
6 農林水産費		16,483	16,084	399	2.5	3.9	3.7
7 商工費		10,115	9,448	667	7.1	2.1	2.2
8 土木費		47,013	67,732	△ 20,719	△ 30.6	11.1	15.4
9 消防費		16,767	16,062	705	4.4	4.0	3.7
10 教育費		61,153	45,886	15,267	33.3	10.4	10.4
11 災害復旧費		51	51	0	0.0	0.0	0.0
12 公債費		73,491	72,657	834	1.1	16.5	17.8
13 予備費		300	300	0	0.0	0.1	0.1

※端数処理により合計が合わない場合がある

【 この資料のお問合せ 】

ニセコ町総務課財政係

担 当： 係長 川埜 満寿夫

業務時間： 8:30 から 17:15 まで

電 話： 0136-44-2121

メー ル： zaisei@town.niseko.lg.jp



NISEKO
HOKKAIDO JAPAN